ひろの未来館展示解説４

柳町Ⅱ遺跡

所在地　福島県双葉郡広野町大字下浅見川字柳町
福島県埋蔵文化財包蔵地台帳　54180102

柳町Ⅱ遺跡は、東日本大震災のあとに広野駅の東側を整備するための試掘調査で新たに見つかった遺跡です。整備工事で遺跡がなくなってしまうため、2015年（平成27年）に発掘調査を行いました。

発掘調査では、縄文時代早期の終わりから前期の始まり頃（今から約８千年前～７千年前）のムラのあとが見つかりました。この時代は、動物や植物などの食料が豊富な山に近い場所にムラを作ることが多く、海岸に近い場所でムラが見つかることはとても珍しいことです。海の幸を求めて、キャンプのように利用していたのかもしれません。

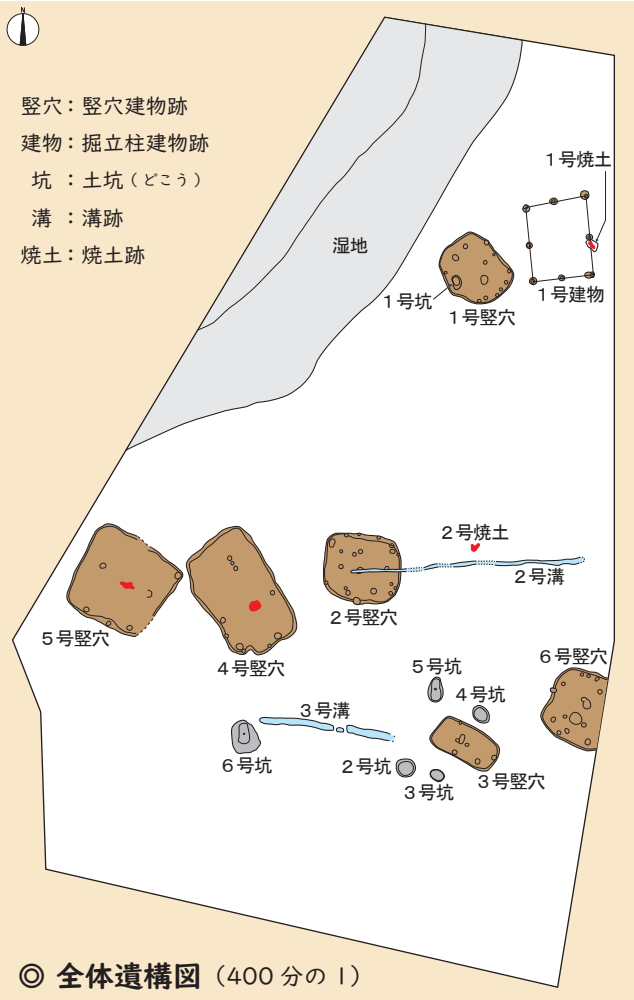
ムラでは、地面を掘りくぼめた竪穴式の住居に住んでいました。住居の近くには、動物を捕えるための落とし穴も見つかりました。石鏃も多く出土しているため、海の幸だけでなく、動物も捕らえながら生活をしていたようです。

その他に、中世以降の建物のあとも見つかっています。柳町Ⅱ遺跡の西側は湿地になっていたため、当時の人々は湿地と海の間の少し高い場所を選んで住んでいたようです。

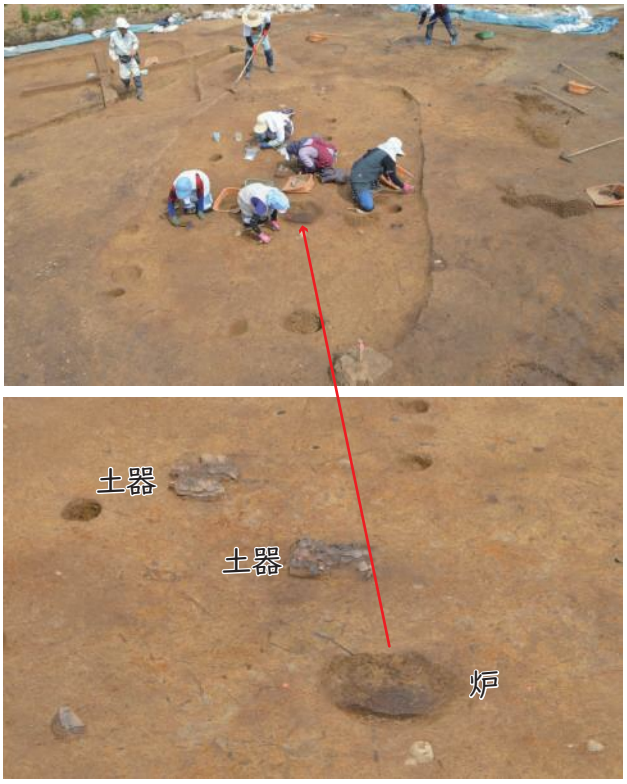
発掘調査の成果は、『桜田Ⅳ遺跡・柳町Ⅱ遺跡』（広野町文化財調査報告第７冊）として報告されています。

柳町Ⅱ遺跡の位置

柳町Ⅱ遺跡で見つかった縄文時代のムラ



◎ **全体遺構図**（400分の1）



◎ **縄文時代の住居のあと（第4号竪穴建物跡）**
赤く焼けた炉のあとと、つぶれた土器がありました。

◎ **落とし穴（第5号土坑）**
深さは1.1mで、落ちた動物にダメージをあたえるため、中に尖った杭を立てていたと考えられます。

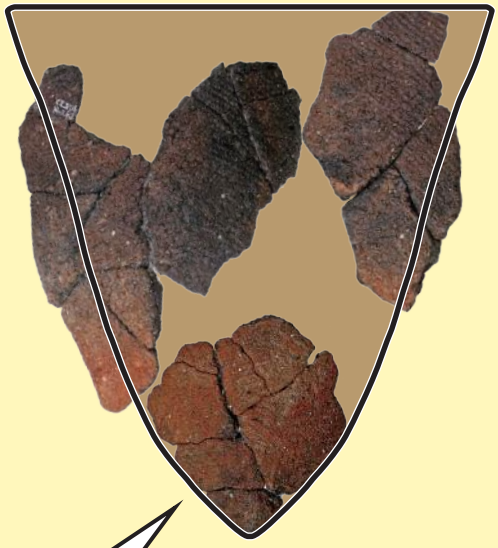
◎ **中世の建物のあと（第1号掘立柱建物跡）**
地面に柱を埋めた簡単な建物だったようです。

柳町Ⅱ遺跡で見つかった縄文時代の住居は、地面を四角や長方形に掘りくぼめたものです。住居の床からは火を焚（た）いた炉（ろ）のあとや柱の穴が見つかりました。

右上の写真は、第4号竪穴建物（たてあなたてもの）という住居を調査している様子です。長軸6.6m・短軸4.2mの長方形で、人と比べると大きさが想像できます。

調査をした範囲からは、5軒の住居が見つかりましたが、隣との距離がかなり近いため、同時に建っていたのは2～3軒と考えられます。

第3号竪穴建物は、他の住居よりかなり小さいので物置だったかもしれません。



この図は、土器の形を説明するために、遺跡内の別々の場所から出土した土器を組み合わせて作ったものです。

縄文時代の土器

縄文時代は、今から１万数千年前から２千４百年前頃まで、１万年以上もの長い間続いていました。

柳町Ⅱ遺跡で出土した土器は、縄文時代の中でも早期の終わりから前期の始まり頃（約８千年前～７千年前）にあたります。

この頃の土器は底が尖（とが）っているもの（尖底（せんてい）土器（どき））が多く、土器を作るときに土に植物の繊維を混ぜ込んだものもあります。土器の表面には、様々な文様（もんよう）（模様）が付いています。

縄文時代の道具

縄文時代の遺跡からは、石で作った道具（石器（せっき））が多く見つかります。他にも木、動物の骨や角、貝などで作った道具もありましたが、石器以外は残りにくいため、普通の遺跡ではほとんど見つかりません。

柳町Ⅱ遺跡では、多くの石器と、石器を作る材料の石や、作りかけの石器も出土しています。

突き刺す

削る

穴をあける

切る

土を掘る
木を切る

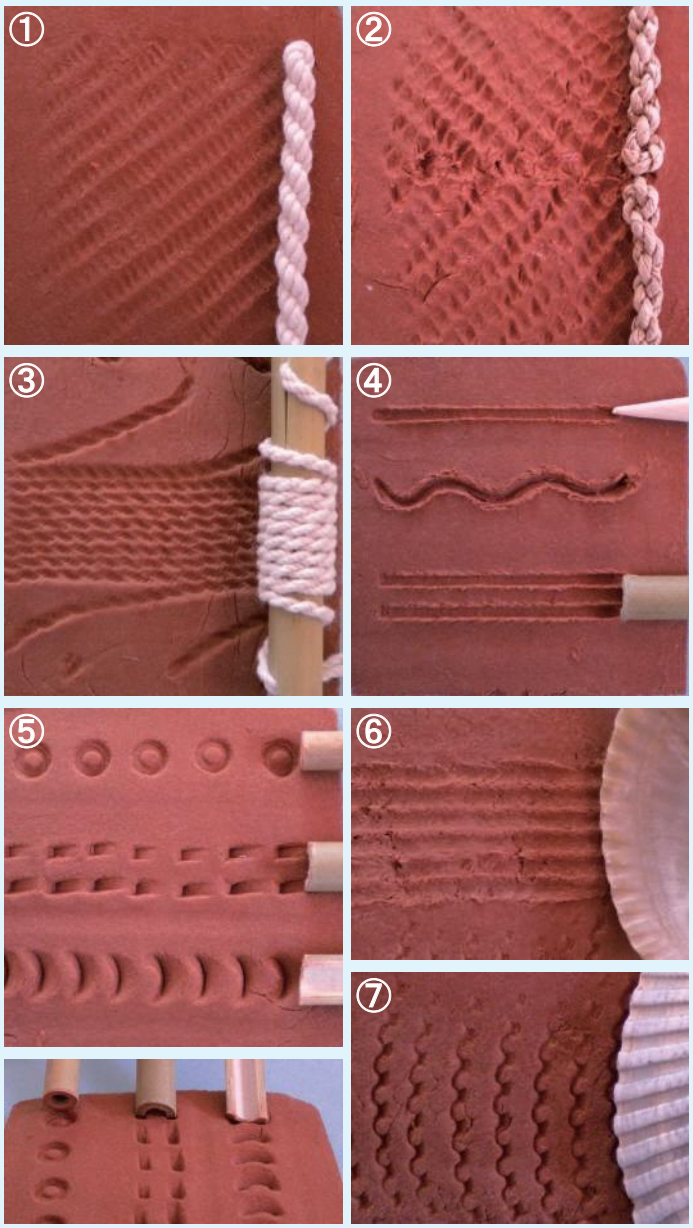
すりつぶす
たたく・みがく

※土器・石器はわかりやすいように大きさを変えています

さまざまな土器の文様

縄文土器の「縄文」とは、「縄の模様」のことです。土器の模様は「文様（もんよう）」と言い、縄の文様が付いた土器なので、「縄文土器」と呼ばれるようになりました。

縄はカラムシなどの植物の繊維（せんい）を撚（よ）って作ります。「撚る」とは、「ねじる」ことです。繊維をねじって糸にしたものをさらにねじり合せて縄にします。縄文土器は、縄文以外にも竹、木片、動物の角や骨、貝など、様々な素材を利用して文様を付けていました。



①縄　文（じょうもん）
縄を転がしたもの。撚る方向、撚り合わせた本数や回数で、様々な文様になります。②は鳥の羽のように見えるので、羽状縄文（うじょうじょうもん）と呼ばれます。

③撚糸文（よりいともん）
縄を棒などにに巻き付けて転がしたもの。

④沈線文（ちんせんもん）
細い棒などで線を引いたもの。縦に割った竹を使うと、平行線（へいこうせん）を引くことができます。線の組み合わせで格子模様にもなります。

⑤刺突文（しとつもん）
棒などを刺したもの。竹を使うと様々な模様ができます。

⑥条痕文（じょうこんもん）
スジがある二枚貝（にまいがい）などで撫（な）でたもの。

⑦貝殻腹縁文（かいがらふくえんもん）
二枚貝の縁（へり）を押し付けたもの。スジがある貝を使うとギザギザのあとが付きます。

◎柳町Ⅱ遺跡で見つかった土器の文様（※素材は身近に手に入るものを使っています。）

－　奥　付　－
ひろの未来館展示解説４「柳町Ⅱ遺跡」
発行日　2024 年 7 月 1 日
発　行　広野町教育委員会　〒979-0402　福島県広野町大字下北迫字苗代替 35　TEL 0240-27-4166
編　集　ひろの未来館　〒979-0403　福島県広野町大字下浅見川字築地 73 番地 1　TEL 0240-27-2277